

有機農業マーケット(世界/国内)

【世界の有機食品市場の推移】



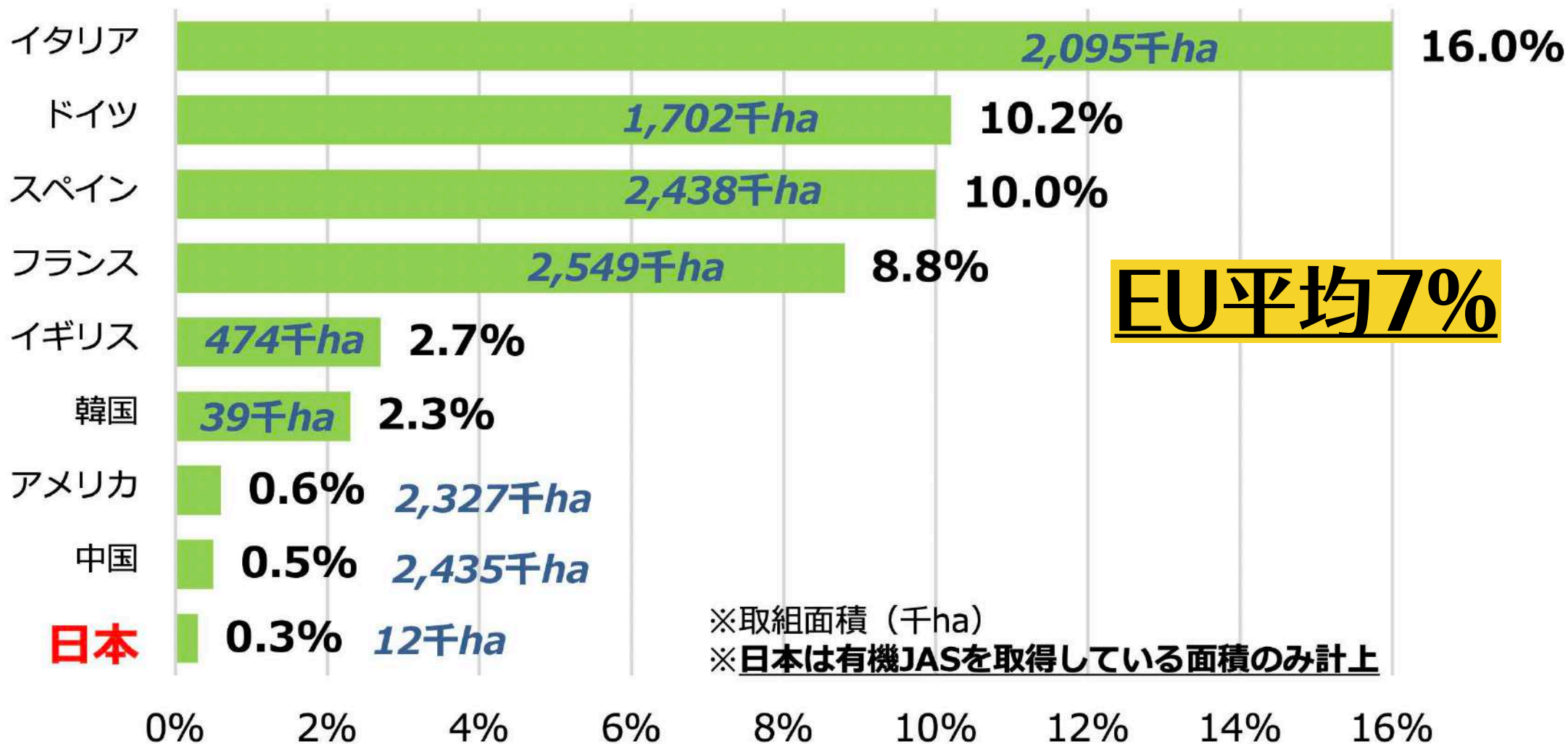
【1人当有機食品消費額】

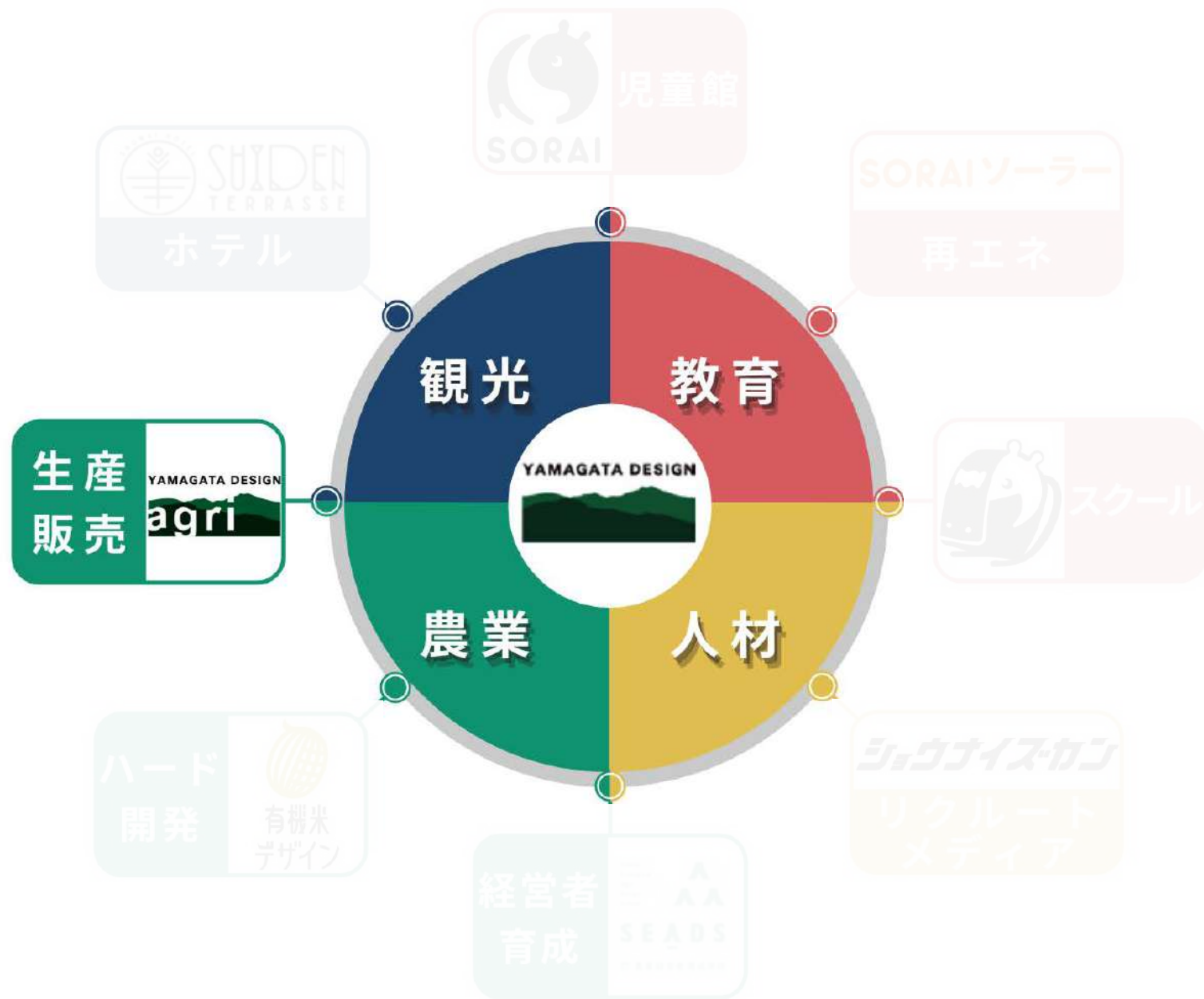


【国内の有機食品市場の推移】

	2009年	2017年	2021年(推定)
日本全国の有機食品市場の実績と推計	1,300億円	1,850億円	2,207億円
参考指標			
「ほとんどすべて「有機」を購入している」者の一世帯当たりの月平均有機食品の購入額 (円)	11,800円	10,750円	-
「ほとんどすべて「有機」を購入している」者の割合 (%)	0.90%	1.68%	-
日本全国の世帯数 (世帯)	4,900万世帯	5,340万世帯	5,410万世帯
日本全国の「ほとんどすべて「有機」を購入している」者の有機購入金額 (円)	624億円	1,157億円	-

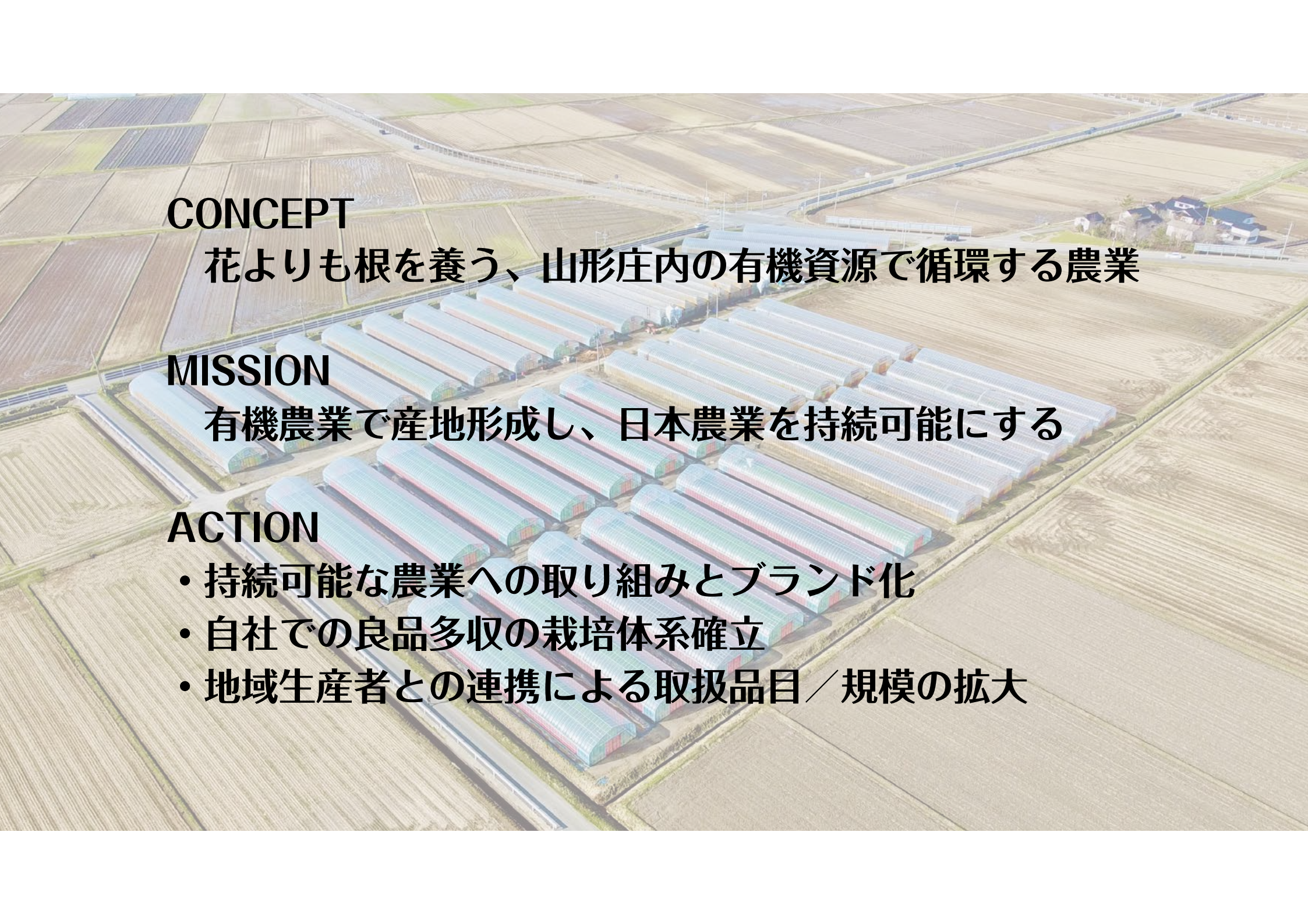
耕地面積に対する有機農業取組面積と面積割合(2020年)





自社ハウス51棟＋生産委託/仕入販売





CONCEPT

花よりも根を養う、山形庄内の有機資源で循環する農業

MISSION

有機農業で産地形成し、日本農業を持続可能にする

ACTION

- ・ 持続可能な農業への取り組みとブランド化
- ・ 自社での良品多収の栽培体系確立
- ・ 地域生産者との連携による取扱品目／規模の拡大



ミニトマト







有機資源循環農法



SHONAI
ROOTS

Ecological Agri From SHONAI

持 続 可 能 な 農 業 を 庄 内 か ら

ショウナイルーツは化学農薬 / 肥料に依存しない、地域の有機資源で循環する農業の実践を通じて、健康な土と根を育み、安心で美味しい作物をお届けします。



庄内大がね

JA 鶴岡
鶴岡市農業協同組合



SHONAI ROOTS 栽培基準について

第一 基本方針

「おいしい国産農作物も、いつでも食べられる」という真の安心・安全を消費者にも届けたい。化学肥料と農薬に依存しない、地域の生態系で循環する持続可能な農業を、庄内から創ります。

基本方針の詳細

- ① 地産消費せらるる良質な栽培資材を用いて、循環的で持続可能な土作りを行う
- ② 化学肥料、及び生化学資材に依存しない栽培を推進する
- ③ 資源ロス・エネルギーを考慮して、環境負荷を低減した栽培を推進する
- ④ 地域の自然（理解・応援）と、創出する（持続する）仕組みを構築する
- ⑤ 仕組みを刷新して発展させる次世代人材の育成に資する

第二 栽培基準

SHONAI ROOTSでは、栽培期間中、化学肥料と農薬を使用せず、主な肥料分（窒素）を地域の有機資源でまかなうことを基本基準としています。この基準での栽培が難しい農作物に関しては、化学肥料と農薬を栽培基準の50%以下に減らした例外基準で栽培を行い、積極的に化学肥料と農薬の使用量を減らしていくことを目指します。いずれの場合も産地が偽りなく、効果的に化学肥料と農薬を用いた農作物は栽培しません。

※ 栽培期間中＝前作収穫後から、今作収穫するまでの間

